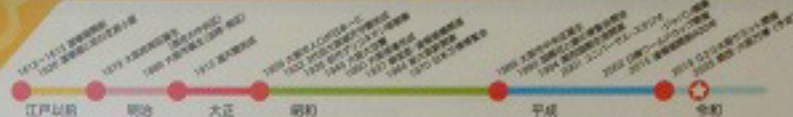


# 道頓堀のいま・これから



最寄駅：オオサカメトロ 各線 なんば駅・日本橋駅  
近鉄電車 大阪難波駅・日本橋駅 / 阪神電車 大阪難波駅 / 南海電車 なんば駅



道頓堀川夜景の舟祭り(令和元年)

## 水辺とともに発展し、豊かな文化を育むまち

道頓堀は古くからエンターテインメントの中心地として賑わい、今では世界的に有名な観光地ともなりました。

新しい商業施設が次々登場し、流行の先端で新たな魅力が生まれているまちですが、地域では古くからの文化や伝統を大切に受け継ぎながら、訪れる人達が安心して楽しめるまちづくりに取り組みんでいます。



平成27(2015)年、道頓堀で2025年の大阪で世界に誇れる、ギネス記録達成



舟祭り(令和元年)

### ● 水辺に親しむ

道頓堀川では、「道頓堀川万灯祭」、「道頓堀リバーフェスティバル」、「道頓堀春フェス」、「道頓堀盆舟祭り」、「大船メナミ夏祭り」にぎわいスクエア」をはじめ、春夏秋冬、水辺を中心とした催しが開催されています。



資料写真(平成26年)



資料写真(平成26年)

### ● 上方演芸の歴史を学ぶ

大阪府立上方演芸資料館「ワッパ上方」は「笑い」がテーマの資料館。より多くの皆様は上方演芸の魅力を感じ、楽しみながら知っていただけます。



資料写真(平成26年)

### ● まちの伝統を知る

十日戎の宝皇堂(ほえかこ)、式部台や、宗右衛門町の船形行事「おひけ餅つき」など、長い伝統の中で育まれた行事が地域と商店街によって行われています。夏の宵渡八坂神社の「道頓堀川船渡御」や大船松竹屋の「船乗り込み」は江戸時代の行事を復活したもので、現在は観光行事として大きな人気を誇っています。



資料写真(平成26年)



資料写真(令和元年)

### ● 上方浮世絵の歴史を学ぶ

活版所・水鏡不動齋前で、世界で唯一上方の浮世絵を常設展示する美術館「上方浮世絵館」では、江戸時代後半の文化・文政期の人気浮世絵を中心に収録・展示されています。



資料写真(令和元年)

### ● まちなかで芸能文化を楽しむ

「国立文楽劇場」では人形浄瑠璃・文楽を中心とした公演。「なんばグランド花月」では漫才・落語・志本新喜劇を公演。「大船松竹屋」では歌舞伎や音楽等多様な公演。中津島の「道頓堀 ZAZA」では漫才や新スタイルエンターテインメント公演を行っています。



資料写真(令和元年)



資料写真(令和元年)

### ● 歌舞伎や文楽の歴史を学ぶ

「道頓堀ミュージアム道本館」では、歌舞伎や文楽を育んだ、「船場町・道頓堀」の400年の歴史を伝えています。

大阪市中央区役所 館  
中央区魅力発信 / いま・むかしにぎわい(ナビ)

ほかにも70以上の情報を掲載した「わがまちガイドナビ」をご覧ください

